

2024年12月2日
SCSK株式会社

日本初！札幌市発！『応援型』ふるさと納税で地域社会を活性化 ～SCSK×札幌市×北海道大学×札幌市立大学にて寄付受付を開始～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、札幌市、国立大学法人北海道大学(以下 北海道大学)との連携協定※に基づき、「地元愛/母校愛による『応援型』ふるさと納税」プラットフォーム(以下 SCSKのふるさと納税)を構築し、公立学校法人札幌市立大学(以下 札幌市立大学)にも参加いただき、2024年12月2日に「SCSKのふるさと納税」による寄付受付を開始しました。

「SCSKのふるさと納税」はSCSKが提供するプラットフォームで、目的型募集のふるさと納税において、民間企業が大学側の支援、自治体と大学の連携を支援する日本初のモデルです。札幌市を皮切りに、2025年春からの全国の自治体、大学への展開を予定しています

※ <https://www.scsk.jp/news/2024/pdf/20240402.pdf>

「SCSKのふるさと納税」

<https://www.scsk.jp/sp/scskfurusato/>



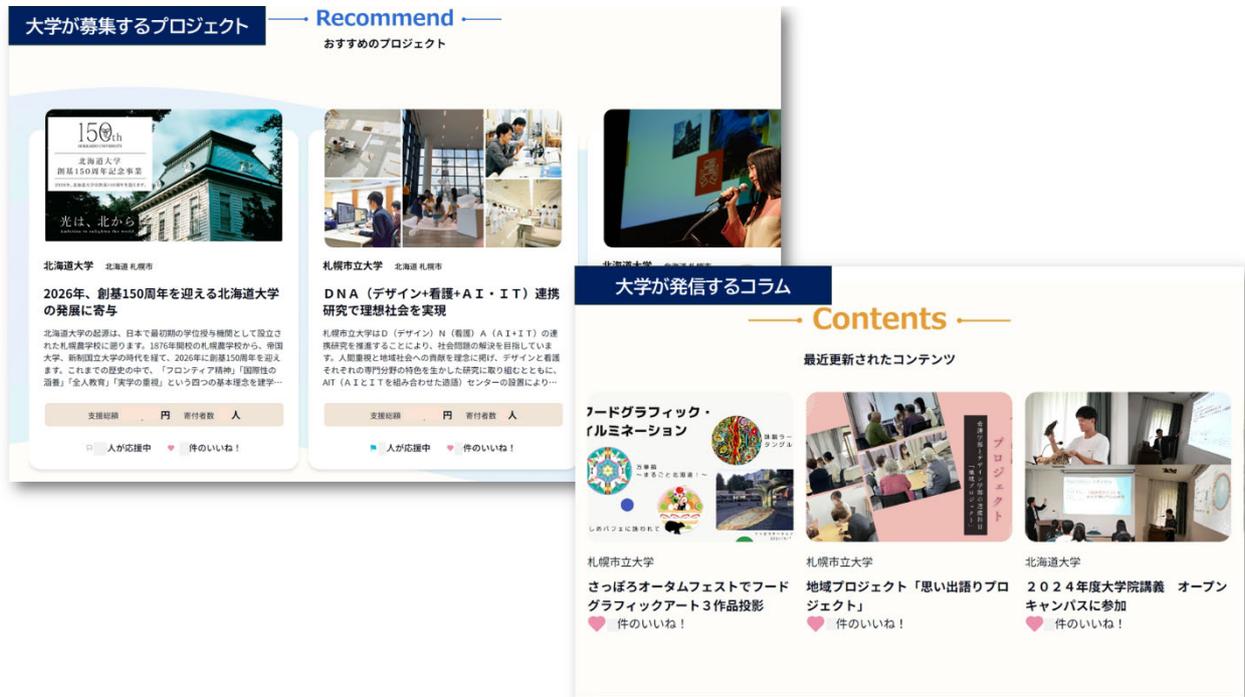
1. 連携協定の取り組み

2024年4月より札幌市、北海道大学、札幌市立大学と協同で、「SCSKのふるさと納税」を構築してきました。札幌市には、市が実施する大学応援プロジェクトの規定を基にした自治体の運営方針設計や業務フローの定義に、北海道大学と札幌市立大学には、寄付プロジェクトの選出や掲載コンテンツの準備、PR活動などに協力いただきました。

2025年春からの全国展開を目指して、以下の項目を検証し、本プラットフォームの機能強化を行います。

- 『応援型』ふるさと納税への関心度について
出身者/同窓生に限らない多くの人々に返礼品目的ではなく地域/大学への関心による寄付を得られるか。
経済的にゆとりのない若年層を含めて幅広い年齢層の人々からの寄付を得られるか。
- 自治体/大学でのデータ活用について
自治体/大学が寄付者との継続的な関係を構築するため、寄付者の興味、関心を調査するアンケートデータやメッセージ配信などを有効に活用できるか。
- 「SCSKのふるさと納税」サイトのユーザビリティおよびプラットフォーム運用業務負荷について
寄付者にとって使いやすく楽しく利用でき、地域/大学への関心が高まるユーザ体験になっているか。
自治体/大学の業務に負荷がかからない運用になっているか。

2. 「SCSKのふるさと納税」の特徴



- 地域や大学との“継続的な結びつき”を重視
ふるさと納税による寄付募集の公開だけでなく、自治体や大学、プロジェクトごとの情報発信ページ、コラム、メールマガジンでプロジェクト背景や大学の活動状況などを伝え、共感による継続的な応援に繋がります。
- 若者も寄付しやすい仕組みで、寄付文化の醸成に貢献
従来は卒業生が中心だった大学への寄付を、卒業生以外にも拡大できるように、多くの人の興味・関心の対象となるよう、多様な寄付プロジェクト、コラム配信を用意しています。
従来の寄付の仕組みと比べて、寄付しやすい仕組みを提供することで、先進国の中で遅れている寄付文化の醸成に貢献します。
今回、札幌市では1,000円から寄付を受け付け、クレジットカード払いにも対応しています。

3. 今後の展開と目指す姿

既にいくつかの自治体、大学より導入に関するお問い合わせをいただいております。2025年春より全国的な展開を予定しております。また、大学のみならず、高校、中学などの教育機関や地域に根差した活動をする団体にまで対象を拡大することを目指します。

それに伴い、興味・関心のある地域・教育機関・プロジェクトの検索機能の充実などを図ります。

さらに、本プラットフォームがふるさと納税による寄付に留まらない、自治体や教育機関との継続的な関係人口増加につながる機能拡充を検討し実装していきます。

エンドースメント

このプレスリリースに応じて、札幌市、北海道大学、札幌市立大学よりエンドースメントをいただいています。

札幌市は、「SCSKのふるさと納税」による寄付受付の開始を心より歓迎いたします。皆さまの「母校愛」や「地域への愛着心」をしっかり受け止め、大学や地域の発展のため寄付金を活用させていただきますので、「SCSKのふるさと納税」を通じてますますの応援をお寄せくださいますようお願いいたします。

札幌市では「SCSKのふるさと納税」がより良いものになるよう引き続き協力していくほか、皆さまからの応援コメント等も踏まえて大学との連携を推進してまいります。

札幌市 まちづくり政策局 局長 浅村晋彦

本学では、卓越した教育研究の一層の充実を図り、自主性・自立性を発揮する総合大学としての使命を果たすため、これまでも皆様からの寄付をお願いしておりましたが、個々のプロジェクトに対し支援できる「SCSKのふるさと納税」は、新たな寄付者層の掘り起こしにつながるものと期待しております。本プラットフォームを通して、寄付をきっかけにさらに北海道大学に関心を持っていただき、我々の取組に関わっていただくことで、社会や地域の活性化に繋げてまいりたいと考えております。

国立大学法人 北海道大学 理事 行松泰弘

本学では、DNA(デザイン、看護、AIT)による密接な連携を生かして、人びとが生き生きと暮らし合える「ウェルネス社会」の実現に取り組み、「人間重視」の考え方を常に基本とした研究・教育・地域貢献活動を推進しています。「SCSKのふるさと納税」は皆さまからの貴重なご意見、ご要望をいただけるプラットフォームですので、応援いただける皆さまとより深くつながることのできる取り組みであると受け止めております。本学の活動を知っていただき、皆さまの期待に応える活動を推進していきます。

公立学校法人 札幌市立大学 学長 中島 秀之

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスをフルラインアップで提供しています。また、「2030 年 共創ITカンパニー」の実現に向け、IT を軸としたお客様や社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決に向けた新たな挑戦に取り組んでいます。

<https://www.scsk.jp/>

SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「豊かな未来社会の創造」に資するものです。

- －ふるさと納税の活用による、地域教育の充実化
- －人材育成を通じた、地域課題解決への貢献

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

産業事業グループ

産業事業グループ統括本部 統括部 遠藤

TEL:080-3538-1254

E-mail: ig-bizpro-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 志村

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。